

# 自然教育園見ごろ情報

2026年6月25日号

詳しくはHPの「見ごろ情報」  
をご覧ください  
<https://ins.kahaku.go.jp/>



附属自然教育園

今週はここに注目!

水生植物園では  
いろいろな花が  
見ごろです!



## くらべてみよう

### ～ノカンゾウとヤブカンゾウ～

園内では、橙赤色の花が見られます。よく見ると花の形の違う2つの種類があることに気がつきます。



ノカンゾウ

- 花は一重
- 日本在来の植物
- 野原や堤防などのやや湿った環境に見られる
- 自然教育園はヤブカンゾウよりノカンゾウが多い



ヤブカンゾウ

- 花は八重咲き
- 古い時代に中国から帰化したと言われる
- 特に人家付近でよく見られる



オオシオカラトンボ

いもりの池や武蔵野植物園の池周辺でよくみかけます。複眼が黒いことで、シオカラトンボ（複眼は青）と区別がつけます。

全域で見られます



シオカラトンボ  
複眼が青色です。



チダケサシ

小さくて可愛らしい花をたくさん咲かせています。乳茸刺（ちだけさし）の名前は、野山でとったチダケ（菌類の一種チダケの地方名）をこの茎に刺して持ち運んだことによります。



オオバギボウシ

大葉擬宝珠（おおばぎぼうし）は、葉が大きいことが名前の由来。擬宝珠（ぎぼうしゅ）とは、橋の欄干につける装飾品のこと、これと花の蕾がよく似ています。



擬宝珠



全域で見られます

ミズヒキ

穂のようにつく小さな花が、上から見ると赤、下からは白く見えることから、進物にかける紅白の「水引」に見立て、名前がつけました。花は小さくても、とても可愛らしいので、是非じっくり観察してみてください。



ミズヒキの花



ヒメガマ

上部に雄花群、下部に雌花群がつき、その間に緑色の軸が見えます。雄花群は花が終わると脱落し、雌花群が残り、実になります。

水生植物園で見られます



ヤブミョウガ

食用になるミョウガ（ショウガ科）と葉が似ていて、やぶに生えることが名前の由来。ツユクサの仲間、真っ白な花は、見ているだけで涼しげです。

天然記念物及び史跡

科博 自然教育園